【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：2023 年　4 月　12 日

1．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人いいだ人形劇センター
（2）事業名　：　人形たちとつくるコミュニティスポット
（3）事業実施期間：2020 年 3 月～2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：公益財団法人長野県みらい基金

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ／ ☐ 実施予定もない ※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。 松下徹、原茂
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☐ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	・7 月ワークショップの様子を放映（飯田ケーブルテレビ） ・12 月 Hug のあとりえ（飯田ケーブルテレビ） ・12 月独自の世界、光る感性知って　松川のフリースクール作品展（中日新聞） ・12 月飯田でフリースクールに通う子どもたちの作品展パペットなど（飯田経済新聞[オンライン]） ・1 月松川町のフリースクールに通う子どもら　個性生き生き作品展（信濃毎日新聞） ・1 月 Hug のあとりえを放映（チャンネル・ユー）
広報制作物等	有	・5 月ほっこりミニライブ／年間スケジュールチラシ ・6 月モンスターパペットをつくろう！／動画制作ワークショップチラシ ・8 月ほっこりミニライブ／人形づくりワークショップチラシ ・9 月 Instagram 開始（インターンシップ） ・10 月ほっこりミニライブチラシ ・10 月モビールづくりチラシ ・11 月 Hug のあとりえチラシ ・1 月動画制作ワークショップチラシ ・季刊情報誌 Dogushi に掲載 4 月活動報告⑥　求められる「居場所」へ 7 月特集　人形たちとつくるコミュニティスポット　はじめの一歩は かろやかに！ 10 月活動報告⑧ 1 月特集　人形たちとつくるコミュニティスポット　新しい仲間に出会えた 3 年間
報告書等	無	

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

人形劇がフリースクールに通う子どもたちや障がいを持った子どもたちにとって有効な手段であることが活動を通じて明確になりました。直接コミュニケーションをとるのに抵抗があっても、人形を介することで少し気持ちが楽になるケースがありました。
また、モンスターパペットをつくるワークショップでは、参加者の心が開放される場面も見られました。具体的には、母親に連れられてきて受身だった小学生が、途中から母親の手を離れて自ら進んで色

を塗っていたり、父親の厳しい教育のために自由に何もできなかった中学生は手や服に絵具がつくのも気にせずに集中して作っていました。
正解がひとつではなく、日常にあるものを別のものに「見立て」てつくる人形劇は、本来子どもたちが持っている想像性を発揮できる重要なツールであることが分かり、これまでとは異なるアプローチでのプログラム制作に発展していきました。
一方、コロナ禍で 2020 年度に思うような活動ができなかったため、初年度は予算を消化できずに返還することになりました。外部講師など県外との交流を積極的に取り入れるプログラムを計画していたので、活動内容も一部変更しました。3 年目に入ってようやく本来の活動ができたことで 1 年目の分をカバーしてきましたが、3 年間での予算執行を決めていただけるとよかったと思いました。
また先の見えない社会状況の中で、開始当初から活動期間の延長を要望していました。極めて特殊な環境だったため、何らかの特例措置も検討していただける機会があればと思いました。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）
それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

ほっこりでは、いつでもいろいろな人形で遊ぶことができる。人形劇の公演や人形づくりなどのイベントで来所すると、本来の目的だけではなく、これらの人形にも興味を持って遊ぶ子どもが多い。

人形づくりワークショップ
人形を作るだけではなく、作った人形での遊びも体験。参加者それぞれが作った人形と備え付けの人形や小道具を使って劇遊びをしている。初めて会ったのだが、次第に打ち解けて一緒に遊び始めた。

Hug のあとりえ（飯田市川本喜八郎人形美術館）
子どもたちが絵、写真、工作、詩など思い思いの作品をつくって展示した。タイトルもペットボトルのふたをつかって、彼ら自身で作った。視覚表現を得意とする彼らにとって、言語表現を中心とする今の学校教育とは相性があまりよくないのではないかと感じた。

ほっこりミニライブ
人形劇を見ていたところ、途中から自宅と同じくらいリラックスして子どもが母親の背中に乗って見始めた。こうしたアットホームな雰囲気で楽しめるのも特徴である。

アウトリーチ活動
モンスターパペットの人形づくりワークショップ。袋状の布に好きな色を塗り、大小ある目玉を最大３個までつけることができる。手の入れ方によって、さまざまな形に変化するため、自由度が高く中学生にとっても関心を持って参加できる。